

当院をご利用される皆さまへ、 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

引き続き、多大なご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。
各お知らせの詳細は、右のQRコードよりご確認ください。

ご来院される前に、下記QRコードから詳細をご確認ください。

発熱症状で
受診される方へ



面会について



内視鏡医学研究振興財団から研究助成と表彰を受けました

当院の消化器内科・胆膵内科副部長である奥野充医師が、内視鏡医学研究振興財団から2025年の研究助成と表彰を受けました。「がん遺伝子ゲノム検査」において胆道癌の組織採取が難しい課題に対し、容易に採取可能な「胆汁」を用いた検査の可能性を探る研究が評価されたものです。実用化に向けて、引き続き研究を進めてまいります。



中央検査室が国際規格 ISO15189 の認定を取得しました

この度、当院の中央検査室は、国際規格ISO15189:2012「医学検査室-品質と能力に関する特定要求事項」の認定を取得しました。これは当医療機関の臨床検査室が国際的に認められた品質と能力の基準を満たしていることを証明するものです。患者さんにより正確で信頼性の高い検査結果を提供できるよう、検査の質の向上に努めてまいりました。今後もISO15189の要求事項に基づき、継続的な品質改善活動に取り組んでまいります。



令和6年度研修医修了式を行いました

3月21日(金)に、令和6年度研修医修了式を執り行いました。2023年4月より2年間、卒後臨床初期研修として当院で日々研鑽に励み、このたび2025年3月をもって、初期研修を無事修了することができました。将来を支える人材としてさらなる飛躍・ご活躍を期待しております。



東館の土曜日診療体制について

4月の土曜日から東館で予約された診療・検査を全て北館内にて行うことになりました。北館1階再来機・受付窓口にてご案内いたしますので、北館へお越しください。詳細は右記のQRコードからご確認ください。皆さまには大変ご迷惑・ご不便をおかけいたしますが、何卒よろしくお願いいたします。

土曜日の
診療日はこちら▼



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

理念

私たちは、地域中核の社会医療法人として
地域住民の皆様に、安全で質の高い医療・
福祉を効率的かつ継続的に提供する。

〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代185-1
TEL:058-388-0111(代)
FAX:058-388-4711
<https://www.matsunami-hsp.or.jp>



基本方針

- ・私たちは、医療における安全を重視し、患者様中心の根拠に基づいた医療・福祉サービスを提供します。
- ・私たちは、患者様や利用者様のプライバシーを守り、権利を尊重します。
- ・私たちは、経営の安定と組織の活性化を図り、職員の働きがいと生活が安定し向上するよう努力します。

松波総合病院公式Instagram

Instagram



フォローお願いします！

スマートフォンで上のQRコードを読み込んでください。もしくはInstagramで下記のIDを検索してください。

[matsunami_general_hospital](#)

特集

救命救急センター ペットおあずかりセンター/ ウィズペット病棟

特集

救命救急センター



令和7年4月1日より 「救命救急センター」の指定を受けました！

救命救急センターは、指定要件を満たした医療機関が各都道府県の知事から指定を受けた医療機関です。岐阜県では、県下の医師会や病院協会、保健機関、各救命救急センター等から選ばれた委員で構成される岐阜県救急医療協議会での審議を経て、岐阜県知事から指定されるかたちになりました。

救命救急センター指定要件のベースラインは、厚生労働省から「充実段階評価」として提示されておりますが、岐阜県では厚労省から提示されたものより高度な機能を有する医療機関が選定されるべく、後述のようなより難易度の高い指定要件が提示されました。



病院所有
救急車

(岐阜県での指定要件の特徴的な点)

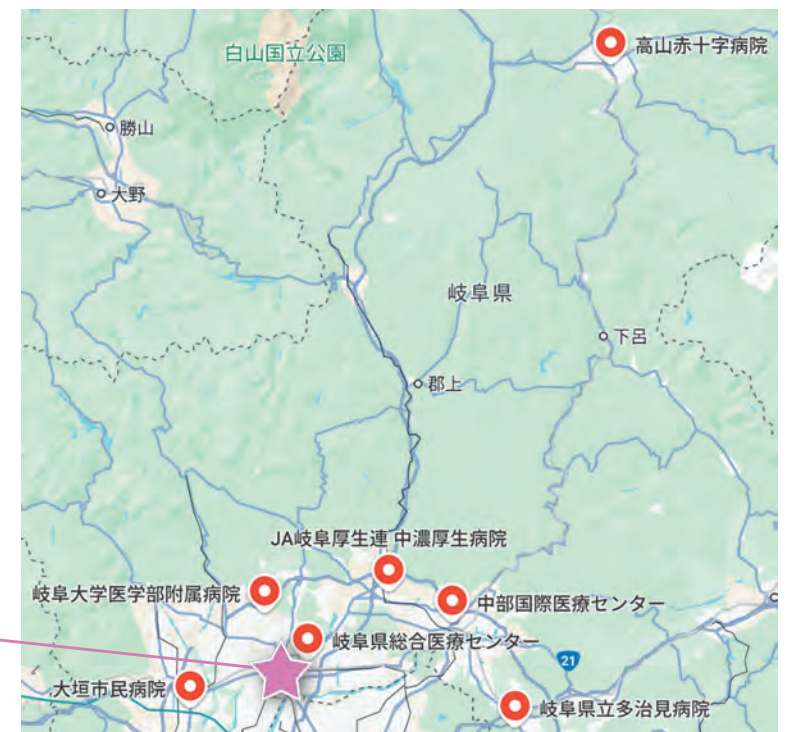
- 救命救急センター長が救急科指導医であること(国基準では専門医でもよい)
- センター専任医師の構成に救急科専門医が3名以上いること(国基準では「適当数」)
- 応需数が、所管人口10万人あたりの受入数500名以上、重篤患者200名以上であること
- 応需率が概ね95%以上であること(応需数、応需率について、国基準では記載なし)
- 災害関連の人材整備:DMATインストラクター、災害医療コーディネーターが在籍(国基準では記載なし)

救命救急センターの役割

救命救急センターには区分があり、当院が指定された救命救急センターの他に、広範囲熱傷や指肢切断、急性中毒等の特殊疾患患者に対する高度な診療機能を持つ「高度救命救急センター」と、最寄りの救命救急センターへのアクセスに概ね1時間以上を要する地域の中核施設が指定される「地域救命救急センター」があります。

全国には、令和7年1月1日時点で309医療機関が指定を受けており、うち50医療機関は高度救命救急センター、19医療機関は地域救命救急センターに指定されています。

岐阜県では現在までに、岐阜大学医学部附属病院(高度)、岐阜県総合医療センター、大垣市民病院、県立多治見病院、中濃厚生病院、高山赤十字病院(地域)が指定を受けています。岐阜県下の民間医療機関では初で、2004年11月に岐阜大学医学部附属病院が指定を受けて以来、約21年振りの指定となりました。



松波総合病院

救命救急センターの役割は、その地域で発生した急病や事故、災害などで生命の危険がある患者を迅速に受け入れ専門的治療を24時間体制で提供することです。また、メディカルコントロール体制を整備して、搬送先医療機関がなかなか決まらないといった「搬送困難例」の発生を回避させる責務もあります。

また、救命救急センターは、医療従事者、特に救急救命士、看護師等が、最新の医療技術や知識を学ぶための訓練を受ける場としての機能を有しているものとされています。

「救急医療センター」から「救命救急センター」へ

当院は、2017年10月に救急科(救急総合診療科)を設立したことを機に、救命救急センターと同等の機能を有する施設を目指し、厚生労働省が示す「充実段階評価」で高評価となるべく、人員配置や機能を改善・向上し実績を残してきました。

救急車応需数は、救急科設立前には約3,300台でしたが、令和6年度には4,268台を応需するほどとなり、うち重篤患者受入数は638台と多くの重篤患者を受け入れました。また、その応需率は当時98-99%であった状況から令和6年度は96.7%と、やや低下したものの高水準を維持しています。

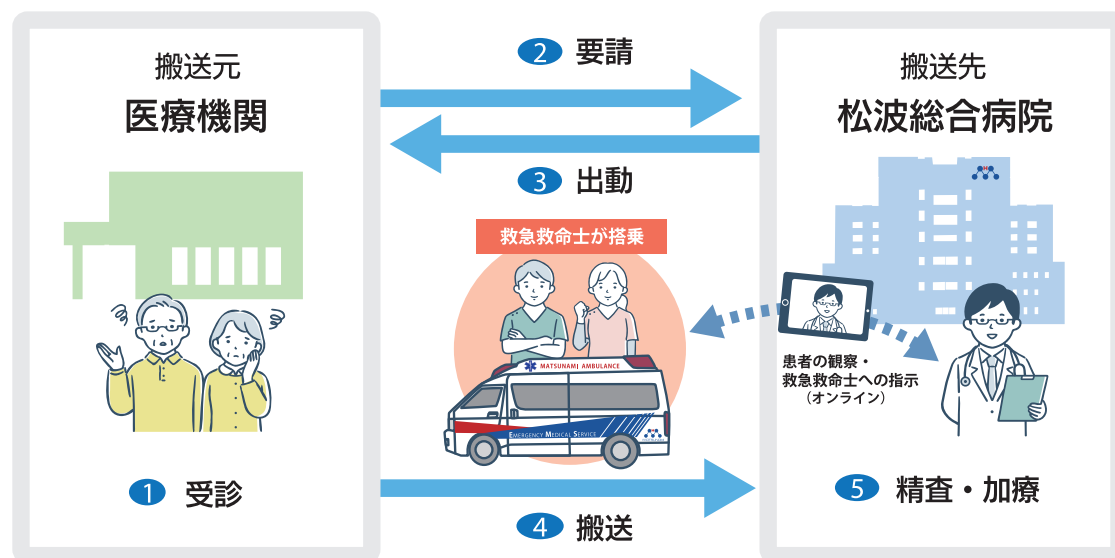
●救急車応需数と応需率(2017～2024年度)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
救急車搬送数(数)	3,690	3,822	3,659	3,151	3,255	3,343	3,918	4,268
応需率(%)	97.1	98.2	98.4	98.5	96.2	89.6	93.7	96.7

当センターでは以前から、医師・看護師・救急救命士を目指す学生の病院実習や、各職種の初期研修・就業前研修を行ってまいりました。また、羽島郡広域連合消防本部からの派遣でワークステーションを行っており、地域を支える救急隊とコミュニケーションをとり、周辺の救急医療の改善向上に努めております。

より多くの救急患者を受け入れることとなるため、病床のコントロールを地域で行う必要が出てきます。そのため、近隣の医療機関と連携し、また当院の救急救命士が搭乗した救急車を活用して、患者の安全を守りながら連携医療機関との患者転送/転院搬送を強化してまいります。

●救急患者連携搬送



今後の展望

当院が救命救急センターの指定を受けたことに合わせて、ハイケアユニット(HCU)として使用していた病棟を救命救急センター病棟(Emergency Care Unit:ECU)へ改修し、ECUには常時医師が勤務しております。患者対応の質向上とECUに関係するスタッフの対応力向上に寄与できるよう尽力します。

さらに、岐阜県の救命救急センターは災害時活動の中心的医療機関としての使命も背負っています。災害時の活動拠点となるべく、DMATや災害医療コーディネーター等の人員配置とともに災害時医療を平時から教育指導できる人材育成も担います。また、有事の際の活動拠点本部を設営できるよう人員や場所、資機材を有する医療機関へとさらなる進化をしています。

最後に、当院救命救急センターでは今後、地域救急医療の向上を目指し、臨床現場で活躍できる救急医はじめスタッフの育成を行える環境を整えるとともに、集中治療にも携わる医師・看護師の育成にも注力し、院内外のニーズに応えられるようクリティカルケアの質の向上を目指して活動します。今後ご指導ご支援をよろしくお願いいたします。

(文責:八十川雄図)

救命救急センター指定通知書▶



担当医師プロフィール



救命救急センター長
山口 均
(やまぐち ひとし)

【専門分野】
▶ 救急

【認定資格】

- ・日本救急医学会:救急科専門医
- ・日本救急医学会:救急科指導医
- ・日本救急医学会:学会評議員
- ・日本救急医学会中部地方会:理事
- ・日本集中治療医学会:集中治療科専門医
- ・日本集中治療医学会:学会評議員
- ・日本集中治療医学会東海北陸支部協議会:委員
- ・日本中毒学会:クリニカル・トキシコロジスト
- ・日本中毒学会:学会評議員
- ・日本中毒学会西日本地方会:幹事
- ・日本医師会:産業医
- ・医療安全管理者

【所属学会】

- ・日本救急医学会
- ・日本集中治療医学会
- ・日本外傷学会
- ・日本臨床救急医学会
- ・日本中毒学会
- ・日本災害医学会
- ・日本病院前救急診療医学会

Your pet in hospital ペットおあずかりセンターと With Pet Ward ウィズペット病棟の サービス開始



ペットおあずかりセンター・ウィズペット病棟

2025年4月1日より、①ペットおあずかりセンター(Your pet in hospital)のサービスを開始しました。また同日、ペットと一緒に入院できる病室②「ウィズペット病棟」を海津市医師会病院（同市海津町福江）に開設し、日本では初となる「ペットと一緒に入院加療」のサービスを実現させました。

国内初

2025年
4/1
より

近年のペットブームで飼い主が増える中、ペットを自宅に残して入院することをためらう患者さんも多く、早期入院や早期治療の障壁になっていました。本サービスにより、入院時にペットを自宅に残す心配がなくなると同時に、治療中もペットと触れ合うことができ、入院患者さんのストレスや痛みの軽減効果による早期治療、回復が期待できます。

① 急性期の治療や患者さんの評価は「松波総合病院」で入院して行います。

その間は敷地内に新設された「ペットおあずかりセンター」で、医師等の許可があれば毎日面会可能です。

② 病状が安定したのちや評価後に「海津市医師会病院」へ転院し、ペットと同じ病室内で入院ができます。ペットが外で運動できるようにドッグランも併設しています。

ペット（※2025年4月時点では預かり対象は犬のみ）をお預かりできるかどうかの確認は、松波総合病院での入院前に有資格者によって行います。
確認内容は体高が45cm・体長が53cm以内であるか、ワクチン接種しているかなどです。

ペットおあずかりセンター
松波総合病院の詳細は
こちら



第一種動物取扱業登録証	
氏名	社会医療法人蘇西厚生会 理事長 松波 英寿
住所	岐阜県笠松町田代257-3
動物の受養及び管理に関する法律第10条第1項に基づき、上記の者を第一種動物取扱業者として登録する。	
登録の年月日	令和7年3月28日
登録の更新の年月日	令和12年3月27日
有効期間の末日	令和12年3月27日
1 事業所の名称	ペットおあずかりセンター
2 事業所の所在地	岐阜県笠松町田代字天神203番地
3 登録に係る第一種動物取扱業の種類	保管
4 動物取扱責任者の氏名	合澤 昌美
5 備考	

より詳しい情報はホームページをご確認ください。また、ご相談や質問等に関しましてはメールもしくはお電話で受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

松波総合病院

【ペットおあずかりセンター 松波総合病院】

所在地

社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院
〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代 185-1

お問い合わせ

ペットおあずかりセンター管理者
代表電話：058-388-0111
メール：pethotel@mghg.jp



一般社団法人 海津市医師会 海津市医師会病院

【ウィズペット病棟 海津市医師会病院】

所在地

一般社団法人 海津市医師会
海津市医師会病院
〒503-0628 岐阜県海津市海津町福江 656-16
代表電話：0584-53-7111
FAX：0584-53-7128



ベストスタッフ・オブ・ザ・イヤー

-Best Staff of the Year-

当院では毎月、ベストスタッフ・オブ・ザ・イヤー表彰を行っています。各所属で活躍したスタッフを推薦し、表彰します。今回は2月、3月に表彰された職員をご紹介します。

2月

実践部門

救急外来 看護師
福島さん

この度は栄誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。この賞は救急外来の皆さんのご指導とご協力があってこそこの賞だと思っています。これからも学びを活かし、より良い看護を提供できるように精進します。

2月

実践部門

診療支援部(外来) クラーク
廣井さん

この度は栄誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。この栄誉は私1人の力ではなく、支えてくれた上司や同僚の皆さんのおかげだと思っています。これからも初心を忘れず精一杯努力して、クラークとして医療に貢献できるよう、仕事に励みたいと思います。

2月

実践部門

人間ドック 管理栄養士
戸崎さん

このような賞をいただき誠にありがとうございます。今後も法人発展のために、主体性を持って日々の業務に取り組み、受診者の心をしっかり掴んでいく指導を心がけていきます。

2月

実践部門

介護老人保健施設 介護支援専門員
宮崎さん

この度は、栄誉ある賞をいただき大変嬉しく思っております。今回の受賞は、私個人の力で得たものではなく、職員の皆さんからの協力をいただいた成果だと身に染みて感じております。これからも、初心を忘れず病院に貢献できるよう頑張っております。

3月

マネジメント部門

透析センター 看護師
栗山さん

この度は栄誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。医療安全委員として「透析中の抜針事故0件」の目標達成ができました。チーム一丸となる大切さを体感できたので今後に活かしたいと思います。

3月

実践部門

薬剤部 薬剤師助手
村瀬さん

この度はこのような賞をいただき、誠にありがとうございます。周りのスタッフの協力のもと受賞できたものだと思っています。今後もスタッフ同士助け合いながら成長できるよう努力していきたいと思っています。

3月

マネジメント部門

退院調整室 MSW
飯塚さん

この度は栄誉ある賞をいただき、大変嬉しく思っております。医療ソーシャルワーカーとして、困り事の解決策を患者さん・家族さんと共に考え、寄り添った支援を行えるよう励んでまいります。

3月

実践部門

訪問看護ステーション 理学療法士
檜谷さん

この度は栄誉ある賞をいただき大変うれしく思います。訪問看護スタッフ皆さまのご指導があってこそと思っています。今後も全員で協力し利用者さまの笑顔を増やせるように取り組んでいきます。



受賞おめでとうございます！



管理栄養士監修

美味しく食べて、健康に

栄養科だより

春バテ対策
—今から食事のできること—



季節の変わり目は体調を崩しやすい時期とされていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？理由もなく体がだるい・朝起きるのがつらい・イライラして落ち着かない・寝付きが悪く眠りが浅い、このような症状はありませんか？当てはまるあなたは「春バテ」かもしれません。「春バテ」という言葉はあまり聞き馴染みがないかと思いますが。春バテとは、春先の季節の変わり目の寒暖差やストレスによる自律神経の乱れなどによって生じる心身の不調のことをいいます。



自律神経



自律神経は、活動する時に働く「交感神経」と休息する時に働く「副交感神経」の2つが入れ替わり働いています。何かの要因で片方の神経の働きが大きくなると、自立神経のバランスが崩れてしまいます。

春は1年のうちで寒暖差が1番大きく、気温の変化に対応するため、身体は交感神経の働きが優位な状態(緊張状態)が続きます。また、異動や転勤・新生活の始まりなど、生活が大きく変化する季節でもあり、普段より緊張する機会やストレスを感じる事が多くなるかと思えます。このように春は外的環境の変化が多いため自律神経がバランスを崩しやすく、「春バテ」と呼ばれる状態につながっていると考えられています。

春バテの予防や対策には食事の内容や睡眠などの生活習慣を整えることや、適切にストレスを解消することが大切です。

春バテ予防の食事

✓ 1日3食バランスの良い食事を摂りましょう

体内時計の乱れは自律神経の乱れにも繋がります。朝食をしっかり食べることで腸が刺激され、体内時計が整います。また、食事を摂ると消化のために副交感神経が活発に働き、体はリラックスモードになります。偏った食事は自律神経の乱れにもつながるため、バランスの良い食事が大切です。

✓ ビタミンを摂取しましょう

- ・ビタミンB群は疲労回復や代謝に関わるため、不足すると疲れを感じやすくなります。
- ・ビタミンCはストレス解消や風邪予防、美肌効果が期待できますが、ストレスで消費されやすいため、積極的な摂取が必要です。
- ・ビタミンEは自律神経の働きを整えます。

✓ 腸内環境を整える食事を意識しましょう

季節の変わり目のストレスにより便秘や下痢、腹痛などの消化器症状を引き起こす可能性があります。消化器症状の予防や緩和には腸内環境を整えること、中でも善玉菌の数を増やすことが重要です。善玉菌の餌となる食物繊維を積極的に摂るようにしましょう。また、善玉菌は味噌やヨーグルト、キムチなどの発酵食品から摂ることができます。

★春に旬を迎える野菜にはビタミン・ミネラル・食物繊維が豊富で疲労回復に効果的です！

旬の野菜：アスパラガス、キャベツ、新たまねぎ、スナップえんどう、菜の花 など

旬の食材を楽しみながら春バテを予防し、元気に新年度をスタートさせましょう！



監修：栄養科 浅井 杏月

